

## ●清掃工場 1 カ所の廃止について

札幌市では、篠路清掃工場を、平成 23 年 3 月末をもって廃止します。

この工場は、平成 21 年 7 月 1 日からの「新ごみルール」実施後、市民の協力により家庭から出される廃棄ごみ（燃やせるごみ、燃やせないごみ）の減量が順調に進んでいることを受け、平成 22 年 4 月から運転を休止していたところです。

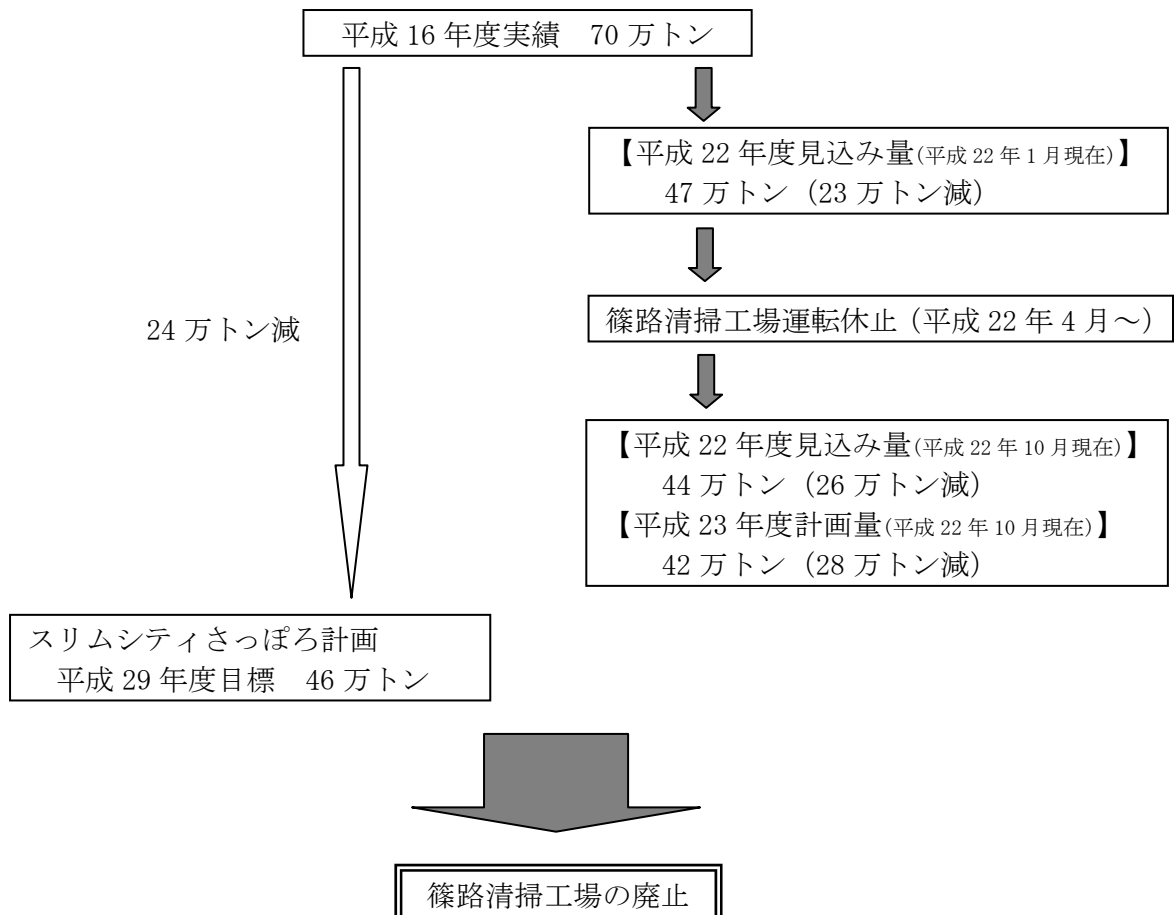
このたび、平成 22 年度および平成 23 年度の焼却ごみ量について、「スリムシティさっぽろ計画」で掲げた平成 29 年度までに達成すべき目標値を下回る見込みとなったことから、市内 4 カ所の清掃工場のうち 1 カ所を廃止しても処理が可能であるとの判断に至ったものです。

### 1 廃止時期

平成 23 年 3 月末

### 2 廃止を決定した理由

「スリムシティさっぽろ計画」で掲げた「平成 29 年度までに焼却ごみ量を平成 16 年度比 24 万トン減の 46 万トンにする」という目標を、平成 22 年度見込みと平成 23 年度計画において達成できる見込みとなり、3 カ所の清掃工場だけで処理することが可能であると判断したため。



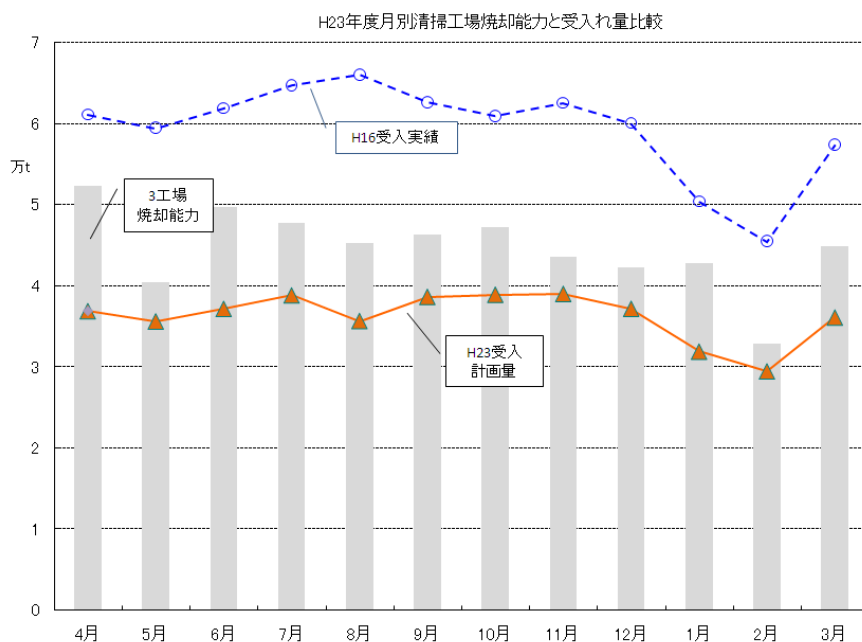
## 【焼却ごみ量の推移と平成 23 年度計画】

平成 22 年度見込みと平成 23 年度計画で焼却ごみ量 24 万トン削減を達成できる見込みとなった。

		16年度実績 (基準年)	21年度実績	22年度計画量	22年度見込量	23年度計画量	最終目標 (29年度想定)
焼却 ごみ	家庭系	387,877	298,409	279,200	258,586	256,180	241,800
	削減量	—	▲ 89,468	▲ 108,677	▲ 129,291	▲ 131,697	▲ 146,077
	事業系	313,737	188,194	188,920	178,823	167,193	219,800
	削減量	—	▲ 125,543	▲ 124,817	▲ 134,914	▲ 146,544	▲ 93,937
	計	701,614	486,603	468,120	437,409	423,373	461,600
	削減量	—	▲ 215,011	▲ 233,494	▲ 264,205	▲ 278,241	▲ 240,014

## 【焼却能力と受入計画】

平成 23 年度受け入れ量は、3 工場焼却能力の 80%と見込まれ、定期整備等の停止期間を考慮しても 3 工場体制で処理が可能である。



### 3 廃止後の施設の扱い等について

- (1) 廃止後の管理体制など、詳細については現在調整中。
- (2) 篠路清掃工場に併設している破砕工場およびごみ資源化工場については、当面運転を継続する。
- (3) 篠路清掃工場の用地等の利活用については、今後調査を実施し検討する。

《参考》

札幌市の清掃工場

工場名	所在地	竣工年	処理能力
篠路清掃工場	北区篠路町福移 153-1	昭和 55 年	600t/日 (300t/日×2 炉) ※ 平成 23 年 3 月末廃止
駒岡清掃工場	南区真駒内 602-30	昭和 60 年	600t/日 (300t/日×2 炉)
発寒清掃工場	西区発寒 15 条 14 丁目 1-1	平成 4 年	600t/日 (300t/日×2 炉)
白石清掃工場	白石区東米里 2170-1	平成 14 年	900t/日 (300t/日×3 炉)

問い合わせ先

環境局環境事業部企画課 富田、三浦

電話：211-2912